

JAITIとは、「財団法人日本農業研修協会の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの略称で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基礎とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる根幹」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発行 (財) 日本農業研修協会の協力
住所 〒386-0502 長野県小県郡武石村沖456
TEL.0268-85-3465 FAX.0268-85-3583

「学ぶと言おうこと」の

大切さを知りました

依田窪南部中学校長 久保田 寛人

本校では、数年前ジャイチの小林さん、菊池さんから、ネパールのバシユバント学校の支援についての働きかけもあって、生徒連全員が、「自分たちができること」として賛成し、使い終わった進学用カバンや使い残りの文房具などを贈る活動を始めました。

今回も生徒会員によって、二千百点以上の文房具が

集まり、贈ることになりました。そして、この生徒連の活躍が中学校組合議会の皆様に理解されることとなり、更なる交流を促すことになりました。



▲依田窪南部中学校の生徒からの手紙を渡す久保田校長と受取るヤム・ブラサド・バタライ校長

いものかと、この度、中学校組合を中心とした方々とバシユバント学校を訪れることになりました。

学校は、カトマンズから南へ四時間、山また山その奥にありました。気候が多様で険しい地形の所が多い国ではありますが、与えられた自分の命を懸命に生きている姿が見られ

ました。菊池さんが、当時のシエールの方の建学の気持ちを聞き、それに心打たれた後の土地に学校を作ることを決めたと言います。何と崇拝

僕の学校

バシユバント学校
七年生 Uttam Thapa

校舎の周りや教室内はゴミ一つ落ちていないことなく清潔にされていました。何となく話しても驚いたことは、「子ども達の食い入るような目の輝き」でした。先生が板書したことや計算練習など薄い紙のノートを使ってどの子も丁寧に記録し、鉛筆やペンのインクが無くなるまで先生に言って一つ一つ変えている姿が見られました。このように真摯に学ぶ姿は、日本には無くなってしまったのでしようか。豊かさが

の建設費の一部に日本国の郵政省国際ボランティア貯金の寄附金も使われています。学校の名前はバシユバント学校です。

学校はトリブバン、ハイウェイの近くにあり、強いの三方向は山で囲まれています。近くに遠く走る場所もあります。学校は静かです。私は今七年生です。この学校は一年生から七年生までであり、将来の目標はクラスまでです。全部で生徒は二百十名です。先生は八人で、他に三人のスタッフがいます。事務所を含めて二十一棟建物があります。一つ食堂、一つみすずホール、六つのトイレ、三つの教員宿舎と八つの教室です。その中に近代的な机と椅子が並べてあります。このす

知識を覚える場所は学校です。これを知識の倉庫とも言えます。一本の傘の下に大きな家族がいるような沢山の好意をいただき将来の人生を興している場所です。

何でもできるという感覚に陥り、学ぶと言おうことはどういうことかガツンと頭を打たれました。学ぶと言おうことはそのことを精神的に吸収しようとする熱意であり、迫力であると教えられました。せめて、私たち生徒も含めて、ささやかにカバンや文房具など贈ることを通して我が校の生徒連が逆にならぬ学び方を学びたいと思います。幸い、携えていった生徒連の手紙をバタライ校長に渡し文通し

てくれることをお願いしたので私の考えもだんだん叶えられると期待しています。
—長野県長門町—
依田窪南部中学校は、長野県武石村と長門町の二ヶ町村の組合立の学校です。卒業生が寄附してくれた進学カバンが縁で、中学校の運営議会(組合長、北沢貞利長門町長)の議員を含む一四名が十一月に、白費でバシユバント学校を訪

問視察されました。

私は先生連を尊敬します。村民連もこの学校を大変愛しています。この様な遠くの地に、立派な学校を作ってくれたジャイチは私たちの後見人と言いたい。

生徒全員、ジャイチを自分の親みたいに尊敬をしています。私は心からお礼をしていますけれど、言葉で言う必要はないと思います。そのかわりジャイチ(親)の名前を普及させるのは子供の責任ですから、私はジャイチ、私たちの後見人の名前を普及させるための約束をします。
将来この学校は全国で一番良い学校になっているのをみたく思います。



今日のジャイチ

奉仕作業を実施するに当り「継続は力」と、常々心掛けていた結果、少し目標が見え始めた感があります。

◆自主運営(指導責任無し)にしてきたカカニ農場は、八月より白立運営(請負方式)に変更して、推移を見守っています。支配人ラックパシエルは、目の色を変えて取り進んでいきますから、好結果を期待しています。

◆バシユバント学校から、嬉しい便りが届きました。

一九九七年度の五年生全国統一卒業検定試験で、ウタム、タバ君が、学校所在地のマカワンブル郡(人口約三十五万人)の一番で合格して、昨年八月、表彰状とメダルが授与されました。

又、一九九八年度の同統一試験で、この学校より受験した五年生二十八人は、全員合格して六年生に進級出



カカニ農場の番出高が、今年も始まりました

来ました。各学校で進級と認めても、この統一試験に合格しないと、進級を認められない制度に、大変価値ある結果です。先生と生徒に拍手を送り度いです。

◆この半年間、写真展、パゼー、講演会等々のお誘いを各地より受け、実施しました。ご協力下さった方、参加下さった方々へ厚く御礼申し上げます。

七月、用賀ガレージセー

ル(東京世田谷区、信州大学(長野県)、八月、諏訪大社ロータリークラブ(長野県)、九月に佐久市勤労者会館(長野県)、十月、国際協力フュースティバル(東京日比谷公園)、飯山郵便局(長野県)、武石郵便局、十一月、用賀ガレージセー、札幌新聞高等学校(北海道)、ジャイチ札幌支部、世界平和女性連合長野県連合会で開催しました。

◆九月に松田重実カメラマンが継続記録中の、映画収録に出向いてくれました。十一月、ジャイチ事務局の地元中学校の校長先生、役員の方々が、バシユバント



友人が娘と買い物に行く話しを聞くと、羨ましく思っていました。思いがけず異境の地ですが、憧れの娘を身近に感ずる事が出来、この上ない幸せです。

「買って帰る予定の物、まあ嬉しい」と思わず声を弾ませてしまいました。緞巴と美しいシヨルダーでした。なんと優しい子だろうと胸が一杯になりました。憧れていた女の子、心温かい女の子、幸福に満ちた一時でした。

短時間のため言葉の通じないもどかしさもありましたが、温かい雰囲気の中で心が通じ合え、満足な対面でした。

◆九月に松田重実カメラマンが継続記録中の、映画収録に出向いてくれました。十一月、ジャイチ事務局の地元中学校の校長先生、役員の方々が、バシユバント

と、予算組中です。数字が回りましたら、電柱一本、電線何メートルという型で、ご協力を皆様にお願ひ致します。考えています。宜しくお願い下さいます。(岩池)

里親だより

憧れのネパールへ

及川ミサ

以前東南アジアを旅し、未就学児の悲惨な姿を数多く見、考えさせられていた矢先、ユニセフを通じ、毎月銀行引き落としで協力できることを知り、協力しておりました。

今回、ジャイチの里親制度を知り、私にとって無理なく出来るかわかりましたので、早速ジャイチにお願ひし、紹介して戴きました。私に娘、いや孫が出来たのです。

英語系の私立学校に通うラクパ・シエルバ十二歳、七年生です。

私は息子が東京在住のため、盛岡で独居生活です。

学校との交流拡大目的の視察を実施しました。

◆今、学校に電気引込計画があります。近くの村迄入り、父兄は、あと二十五本電柱を建てれば学校へ届く

友人が娘と買い物に行く話しを聞くと、羨ましく思っていました。思いがけず異境の地ですが、憧れの娘を身近に感ずる事が出来、この上ない幸せです。

ラクパとお父さんから、「ヒマラヤに案内します。」とお手紙を戴いた。山好きの私は、若かったらと残念に思いました。

十一月憧れのネパール、娘との初対面の旅。そしてお土産を考える楽しみが始まりました。ネパール到着後五日目でホテルで娘との初対面が出来ました。予定時間より二十分以上も遅れてしまいましたが、ラクパはお父さんと待っていてくれました。

レイを肩に掛けて載せ、お土産も手渡されました。早速その場で開けてびっくり

と、予算組中です。数字が回りましたら、電柱一本、電線何メートルという型で、ご協力を皆様にお願ひ致します。考えています。宜しくお願い下さいます。(岩池)

西暦・ネパール暦転換表

日本の生活は、西暦と年号で動いているが、ネパールは、ヴィクラム(Vekram)暦。日本とは約3ヶ月半のずれがあります。ご参考に。

○印は休日

西暦	日	月	火	水	木	金	土	日	日	月	火	水	木	金	土	日	日	月	火	水	木	金	土	日	
西 暦 2000 2/1~2/29	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
ネパール 2056 10/18~11/7	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
西 暦 2000 3/1~3/31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
ネパール 2056 11/18~12/18	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
西 暦 2000 4/1~4/30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
ネパール 2056 12/19~1/18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
西 暦 2000 5/1~5/31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
ネパール 2057 1/19~2/18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
西 暦 2000 6/1~6/30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
ネパール 2057 2/19~3/17	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
西 暦 2000 7/1~7/31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
ネパール 2057 3/18~4/16	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

とを夢見て、楽しい日々を送りたいと思っております。最高です。

(岩手県 盛岡市)

及川さんは、八二歳で前回のツアーに参加し、息子とラクパさんと会いました。

バシュパント学校 寄生虫調査(Ⅱ) と昔の日本



▲トドック村での糞便採取、藤野先生と牛。

東京では長かった残暑も終わり、少し肌寒さを感じられるようになってきた十月二十二日、私達は成田を出発し、翌日には日中未だ暑さが感じられるカトマンズに到着しました。今回の訪問はバシュパント学校において寄生虫調査と健康調査を目的としたもので、昨年十月、今年の五月に続いて三回目となります。滞在して二日目には持参ガスや人ごみで溢れるカトマンズを脱ぎ、一週間の予定でシンパンジャンの学校へ向

かいました。学校までの自動車の旅は、依然と変わらない道路状態の悪さから快適な旅とはいきませんでした。しかし車窓から見るヒマラヤのすばらしい山並みや、山村の家並みの景色に堪能することができました。学校到着後には生徒たち全員による歓迎式を行いました。また幼さが残っている新一年生とともに、進級してほんの少しだけ大人になった懐かしい顔の生徒たちを見ることができました。

今回の調査に携わった人は吉林第Ⅱ医学部熱帯病・寄生虫学教室の我々二人(春木安生、藤野孝志)、ネパール国スタッフ(ヘトリバパン大学のジーパン、バハドゥール、シエルチャンド博士のほか小野科区、公衆衛生専門家、顧問と異なった検査技師二名を加えた計五名)とジャイネパールマン支配人、さらにボラソニアでカカニの農場にいられた船戸未奈さんが加わり総勢九名でした。

調査内容は、寄生虫症検査では糞便検査とセロファインテック法による糞虫検査を行い、健康調査では尿検査、身体検査ならびに健康診断、インタビュー調査と、今回はじめての色盲検査(この検査では日本より低い色盲率であることが分かった)を行って、最後に生徒たちと先生方へのスライドを使った衛生教育を実施しました。これらの中で本調査の主目的である寄生虫症の検査では約八割の生徒たちが何らかの寄生虫に感染していることが分かりました。

このような寄生虫の高い感染率は、むかし(特に戦後から昭和二十年代まで)の日本と同じであったように思われます。第二次大戦後の戦時中での日本は海外からの多数の帰国者によっていやがうえにも食糧難におちいり、狭い部屋に当時の多人数家族の生活がなされ、狭い庭先に野菜を植え、その栽培に自分たちが掛けたので、回虫・鉤虫などの土壌伝播寄生虫病が蔓延しておりました。これら

のネパールに当てはまると思われませんが、今後のネパールの多様な発展の仕方がは解りませんがその可能性は充分にあるものと信じております。

東京の外れに住んでいる私には、あのすばらしいヒマラヤの山並みや夜空に輝く満天の星を見たときの感動は別世界の様であり、今でも忘れることができません。また、時間の余裕ができれば仕事を離れて、いろいろな寺院や博物館などを訪ねることができればと思っています。このすばらしい財産を持っているネパールのさらなる発展を望んでいられるものであります。我々は三回の調査さらには今後の調査が、バシュパント学校からのネパールの可能性にほんのすこしでもお役にたてればこの上ない幸せと考えております。

今回の調査では、自分自身の不注意から山特有の急激な温度差についていけず体調をくずしてしまい、大切な一日を教員宿舎のベッソトで過ごすことになり、スタッフのみなさんには大変迷惑をかけてしまいました。また、この調査を無事に終えることが出来たのは、子供たちはもちろん校長先生はじめ先生方やジャイネパールマン支配人、今回特別参加いただいた船戸未奈さんなど多くの方々の協力のもとで行えたものであります。この場をおかりしてお礼申し上げます。



▲新一年生



▲寄生虫検査



▲糞虫検査の説明風景

ネパールへの旅を終えて

東方 嘉 浩

旅のアルバムが、公民館事務所の上の机の上に置かれていた。館長は、来る人来る人に、「先日、ネパールに行ってきたんですよ」といって、そのアルバムを開きながら、描写されている内容を、想い出に浸りながら、あたかも、眼の前に見えるように説明している。

「これが日本のNGOジャイチ援助でできた学校と農場」、「でもね、学校に行ける子どもは少ないんだよ」、「この人は、ジャイチを通じてネパールの子どもの里親になってるんだよ」、「いやー、すごいですねえ」

全くその予想は見えないまま、何か私共の力で出来ることはないかと念じ、古切手の取集を始め一年。

次から次へと人の輪がどんだん広がり、感謝感謝の毎日でした。

換金できた金額は、前切手を含め約八、六千円、八、四四四円でした。ネパールの子供達に何ほどの事が出来るか解りませんが、私共のささやかな呼びかけに、多くの方々の賛同とご協力をいただき、一つの目的のために

これからも古切手を集めます

人の輪が幾重にも重なり合った結果だと信じます。この事が私達のもう一つの新たな喜びとなりました。皆々様からのご協力に感謝いたすと共に、「継続は力なり」で、今後も古切手の取集を継続いたしますので、ご協力をお願いいたします。

古切手取集グループ一同
送付先
〒一五八〇〇〇八四 世田谷区東玉川一丁目二〇番二〇〇
安藤雅子

今回の旅行で、送る必要性が十二分に理解できた。やっぱり、体験が必要不可欠だった。

そして、子どもたちに焦点を合わせて、シャッターを切っていた館長は、「ジャパニーズ・チルドレン、幸せね」と、言葉を締めくくるのであった。

驚いたことに、土産に買って来た真鍮の仏像は、決めた細かい細工が施されておられ、完成度が高く、足の裏まで、仏様が彫られている。ただ一つ、ネパールの人や子ども達を見ていて悲しかったことは、ゴミを平気で何処でも捨てていること。バスやトラックの排気ガスと砂埃は、致し方ないと納得できるが、道端にきれいに掃き集められているゴミでも、回収されて処分されていない。自然に帰るものはよいが、ビニールやプラスチック等は集めて処分して欲しいと、館長は、悲しげにつぶやいていた。

こんな館長が、身も心も燃えていた時間があつた。それは、ボカラのドラゴンホテルで、ネパール料理のダルバートを二食分半らげた時だった。

夜半二時頃おきに、炎は胃を駆けまわり、下からはメタンガスが吹き上げていたのだった。それ

「日本の千羽こきを持って行ってあげたらよかったのに」、「物を贈る優越感に浸るために行ってきたの」、「まずは、教育を受けさせて、身分制度を廃止し、工業を起すことが重要だ」等と、見る人の反応はさまざまである。情宣活動も一つの運動と、館長は、一人心の中でつぶやいている。

今まで、館長は、PTA活動でも、子ども「国際レインボー便」として、学用品を中国へ送る協力依頼があつたが、事情も理解できず、積極的に参加しなかつた。「百聞は一見にしかず」

に掃き集められているゴミでも、回収されて処分されていない。自然に帰るものはよいが、ビニールやプラスチック等は集めて処分して欲しいと、館長は、悲しげにつぶやいていた。

こんな館長が、身も心も燃えていた時間があつた。それは、ボカラのドラゴンホテルで、ネパール料理のダルバートを二食分半らげた時だった。

夜半二時頃おきに、炎は胃を駆けまわり、下からはメタンガスが吹き上げていたのだった。それ

里親募集

現在七名の子供が、奨学金の提供を待っています。以下要項をご一読いただき、里親引受のお申し出をお待ちします。

奨学金提供者と受給者は基本的に親子になる気持ちをお持ち下さい。

提供期間の目安は、十年間。子供の受給開始年齢によって多少短くもなりますし、更には上の学校に出すと

は、辛くて楽しい思い出があった。

最後に、胸の奥で手を握り合わせる事が多くなった今日この頃である。ナマステ。

(福井県大野市)

東方さんは、大野市上庄公民館の館長をしていらっしやいます。



長くもなります。

奨学金は勉学に要する費用の支援です。各人金額は異なりますが、寄宿制学校入学者は年間六万円を目安としていきます。

お申し込みがありましたら、以下の順序で進めます。

申込受付→ネパールへ受給者の選定依頼→希望者の紹介→提供者へ案内→提供者の了解を受けたら→受給者に通知。送金開始です。

希望者の紹介には、受給者本人の身上書と写真が送られてきますから、提供者はこの資料で判断します。

縁組が成立しましたら、親子です。里親・里子が白主的に連絡を合せて、成長を見守って下さい。

ジャイチでは、ご要望に応じ、連絡役を喜んでお引き受けします。

第十一回JAITI-ネパールの農場と学校訪問の旅参加者募集予告

ご希望の方は、今から日程を組んでおいて下さい。

日程 十一月十二日(日) 長島セツ子 九九年七月 (千葉県船橋市)

廣瀬 哲夫 九九年(東京 郡浜各區)

・参加条件 一、二時間散歩が可能な方。

・詳細は次号でお知らせしますが、お問い合わせは事務局まで。

・ジャイチの企画で、案内しますが、旅行会社のバックツアーではありません。

支援者の方で、当方で把握している物故者を掲載致します。

ご冥福を祈りますと共に、感謝申し上げます。

立ち止まって二十一世紀の日本人の生活スタイルをひとりひとりが考え直してみてはいかがか。

ネパールの人々に教えられることは多い。

(武石村、製)

ご寄附のお願い

ジャイチの活動を何時も心に留めて下さり、感謝申し上げます。滞留されている財源その他について説明を致します。ご協力をお願い申し上げます。

1. ジャイチ基金……財団法人ジャイチの基本的財源の確保
2. ジャイチ維持費……ジャイチの運営維持費
3. ジャイチ事業費

新たに大きい費用のかかる事業を計画した時にその総費用として確保することを目的としています。

郵便振替 00510-4-65434
振込先 番号 銀行振込 八十二銀行丸子支店(前) 420577
口座名 財団法人日本農業研修協力会
住所 〒386-0502 長野県小県郡碓氷村沖456
電話 0268-65-3465

尚、金額に関しては規定がございませんので、お強りお強りご自分でお決め下さいますようお願い申し上げます。(例えば、収入の1%を、小遣の1%を、的な考えは如何でしょうか。)

編集後記

東海村臨界事故で被ばくした大内さんが亡くなられた。ヒロシマ・ナガサキを経験した日本にとって辛酸をなめる思いだ。

節操のないエネルギー需給、科学技術のリスク観念の欠如、効率化第一主義の工業化社会、何よりも行政の建前論と文書報告の偏重、日本社会の不具合が、かい間見える。

立ち止まって二十一世紀の日本人の生活スタイルをひとりひとりが考え直してみようか。

ネパールの人々に教えられることは多い。

(武石村、製)